

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
加茂中地区

平成23年9月

島根県雲南市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	住民が住みやすくなったと思う割合	%	0	35	80	確定 見込み	●	○	あり なし	83	H23年7月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	都市基盤施設の整備により生活環境の向上を図ることが出来た。
指標2	生涯学習教室の開催回数	回/年	120	300	385	確定 見込み	●	○	あり なし	418	H23年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	各施設において見込み以上の生涯学習教室の開催があった。
指標3	地区内人口	人	1,500	1,550	1,578	確定 見込み	●	○	あり なし	1,550	H22年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	都市基盤施設の整備による生活環境の向上により定住が促進された。
指標4						確定 見込み			あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み			あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1						確定 見込み					H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2						確定 見込み					H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3						確定 見込み					H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	住みやすい住環境の向上	地域自主組織におけるイベント等を実施した。	地域の賑わいを創出することができた。	今後も継続的にイベント等を開催する必要がある。
	安全な歩行空間の確保	交通安全部局における商店街での路上駐車等の排除等の注意喚起を実施した。	統計はとっていないが、路上駐車は減少傾向にある。	引き続き注意喚起を実施し、安全な歩行空間の確保に努める。
	定住促進	島根県住宅供給公社による新規の宅地造成事業が実施されることになった。	宅地造成事業が実施されることにより、定住が図られる見込みとなった。	分譲開始の際に情報公開をしっかりと行う必要がある。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	重要文化財を展示・保存する施設の整備	県立施設など近隣で整備された施設と地域を結ぶソフト事業について、文化財と観光の担当部局へ相談した。	庁内会議を開催しているが、現段階においては検討中である。	引き続き庁内会議等を開催し、事業実施に結び付けたい。
	生活路線を中心とした道路整備	新規の宅地造成事業が実施されることになり、その周辺における道路の改良が行われることとなった。	歩道を拡幅する計画となっており、歩行者の安全を確保することができる。	今後整備する市道等において、地域の歩行ネットワークを確認し、必要性の高い道路には歩道を確保する必要がある。
	空き店舗対策	—	—	まちづくりの観点から除却の希望があれば、採択できる事業を検討する必要がある。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項